

上下水道部 令和元年度部局運営方針実績

運営方針

上下水道は、市民が健康で安全かつ快適な生活を送るうえで欠くことのできない都市基盤施設、ライフラインです。このため、地震や事故に強い上下水道システムの構築を図るとともに、持続可能で安定した上下水道事業の経営をめざし、経営の効率化及び健全化に取り組んでいます。

令和元年度は、平成 30 年度に策定した「上下水道ビジョン」の確実な推進と持続可能な上下水道事業経営の構築を図ります。上水道については、老朽施設の更新や耐震化事業を進めるとともに、広域化・共同化の検討を進めます。下水道については、未普及地域の解消や下水道管路の長寿命化を進めるとともに、水洗化率の向上と官民連携の拡大を進めます。

【重点施策とめざす方向】

持続可能で安定した上下水道事業経営の構築

「上下水道ビジョン」の確実な実行を図るとともに、目標設定に対する進捗状況について公表し、経営の透明性を図ります。

水道事業では、大阪広域水道事業団との統合や近隣市との共同化の検討を進めます。

下水道事業では、さらなる経営の健全化を進めるため、年度末の水洗化率 96.2% を目指すとともに、官民連携の拡大の検討を進めます。

【実績】

目標をやや下回った

「上下水道ビジョン」の確実な実行や経営の透明性を確保するため、計画の進捗管理手法の検討を実施しました。

水道事業では広域的な連携について検討を開始しました。

下水道事業では、大口需要者を含め水洗化のため啓発をすすめ、水洗化率が 96.1% となりました。また次期管路の包括的民間委託の方向性を示しました。

安全で強靱な水道施設の構築

「水道施設整備計画」に基づき、日野浄水場電気設備等の老朽化した浄水・配水施設の計画的更新や耐震化を進め、安全で安心した水道水の供給を図ります。

災害時における重要給水管路等の耐震化を進め、年度末の耐震管率 25.8% を目指します。

目標どおり達成

「水道施設整備計画」に基づき施設の更新・耐震化を進めました。特に基幹施設である日野浄水場の電気設備更新工事は、官民連携事業である設計施工一括発注方式により事業者を選定しました。また、重要給水管路を含め管路耐震化率は 25.9% となりました。

快適な生活環境を提供するための下水道の整備促進

生活排水のより一層の水洗化を図るため、公共下水道事業計画区域における下水道未普及地域の整備、並びに公設浄化槽整備事業区域の浄化槽整備事業の取組みを進め、年度末汚水処理整備率 94.9% を目指します。

災害時における避難所等の生活環境の確保を図るため、下水道総合地震対策計画を策定し、今後のマンホールトイレの整備の方向性をまとめます。

目標をやや下回った

公共下水道整備事業を進め、年度末普及率は 93.6% となりました。公設浄化槽事業区域における浄化槽整備事業の取組みも進めましたが整備済区域の人口減少もあり、年度末汚水処理整備率 94.5% となりました。

下水道総合地震対策計画においてマンホールトイレ整備の計画を示し、令和 2 年度から順次避難所等での整備を開始します。

安全で安心な下水道施設の構築

「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、下水道施設の老朽化が進んでいる地域を対象に、下水道長寿命化対策事業（第2期：H28～H32）を推進し、年度末の長寿命化管路更新率80.6%を目指します。

下水道施設包括的民間委託（H31拡大）により、滝畑浄化センターの計画的な設備更新を行います。

目標どおり達成

下水道長寿命化対策事業（第2期）を進め、年度末の管路更新率は80.6%となりました。

令和元年度から下水道施設の包括的民間委託を開始し、適正な維持管理体制を構築するとともに、滝畑浄化センターの設備やマンホールポンプの中央監視装置の計画的な更新を行いました。